

団体名：ミュージックエイドクラブ

活動名：宇部ふるさとソングスによるボランティア活動

代表者名 / 藤原 利昭

所在地 / 宇部市山門5 - 6 - 35

活動紹介

活動の目的

我々MAC会員は利益追求以前に
"愛する音楽"を通じて"仲間作り"と"友情感"を高め
"演奏する喜び"と"感動を与える喜び"を常に持ち
"社会貢献"に邁進します

2005年の3月に地元のミュージシャンや協力企業により発会。
プロ・アマを問わず複数のミュージシャン(個人・バンド)また各分野のアーティスト(デザイナー・イラストレーター・他)音響・照明・イベントスタッフにより構成され、音楽活動(ライブ・CD制作など)を通じて、また、アーティスト達の交流に基づき、互いのレベルの向上を目指すと共に、「音楽での慰問・募金・その他ボランティアを旨とするあらゆる支援活動」を主たる目的とする団体です。

これまでの活動の様子(内容)

2005年3月に発会し同年5月に地元「宇部新川まつり」でのミュージックエイドクラブ(以下MAC)PRのためのコンサート「福祉とふるさとを歌って歌おう」を企画。宇部一般市民の方々より「福祉」と「ふるさと」をテーマにした歌詞を公募し厳選な審査で採用作品を決め採用の歌詞に会員ミュージシャンが作曲・編曲を行いまつりライブ発表。

その作品全11曲が地元の方々から好評なため「宇部ふるさとソングス」と題したオムニバスCDを同年11月3日に製作・販売。その収益金をやはり地元の福祉団体に全て寄付。

それをきっかけに各会員ミュージシャンもそれぞれのオリジナルCDを製作・販売。そして同様同団体に寄付。

その第2弾として2007年3月にCD「宇部ふるさとソングス2」を同形式で発売。
さらに今年度は規模を山口全体に向けCD「山口ふるさとソングス」の製作販売が決定。現在山口県内より公募した歌詞より14曲を選考し2008年3月には県内各地で発売予定。

またホームページを利用した「インターネット販売」も行っており、ふるさと山口・宇部を離れた地元の方々からの多くの注文もあり「ふるさとを改めて認識でき懐かしさを感じさせてくれて感謝してますむ等のお手紙も届く。

会のPRイベントや「宇部ふるさとソングスコンサート」と題した「チャリティーイベント」の主催や介護施設や養護学校、老人ホームなどへの各ミュージシャンの慰問活動も行う。

これまで「ふるさとソングス1・2」及び各ミュージシャンのMACレーベルCD(全17タイトル発売中)それにチャリティーコンサート等による収益金も含め約30万円の寄付をお送りしています。

また地元のコミュニティFMラジオ局にて毎週木曜日の夜10時からオリジナルのラジオ番組も2006年5月よりスタート!会員ミュージシャンの紹介やMACのイベント紹介、発売されるCDの紹介、福祉活動、そして最近では「エコ環境問題」などをテーマにして番組をお送りしています。

現在計32ミュージシャン(プロ・アマ)と計14の協力企業により社会貢献に邁進しています。

今後の展望

来年には夢であったNPO法人化を目指し、今後は参加いただけるミュージシャンや仲間をもっともっと増やし地元山口で、老若男女問わず音楽活動と福祉活動の結び付けによる活動を新たに展開し、全国規模で「ご当地ふるさとソングス」を手掛けられるようにMACというものをもっともっと知ってもらいたい。

そのためにも地元山口よりこんなに音楽って素晴らしいし楽しいってことを全国の皆様にいるんな形でお届けしていきたい。

今年度製作中のCD「山口ふるさとソングス」のシリーズ化を継続し、「県民全員参加型音楽福祉活動」を確立していきたい。

と同時にもっともっと「福祉」のあり方を見つめなおすものを音楽を通じて、独自で見つけ、それを市民・県民の皆様と共に一丸となって邁進していきたいです。

また最近世界的にも大きな問題になっている「地球温暖化」のエコ対策に関しても音楽活動を通じて皆さんにPRできるものを地元山口を拠点に展開していきたいです。



【ミュージックエイドクラブ発会イベント】



【会員による演奏活動】